地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み（厚岸地域）

●衛生品質管理マニュアルに基づく衛生管理体制の確立（継続事業）

			関連資料
（1）地域マリンビジョンにおける取組内容（Plan）			
地域 MV における取組の位置付け	**【地域の将来像】** 漁港施設の衛生管理体制の構築 **【主な取組】** 新たな衛生管理マニュアルの完成、衛生管理研修会の開催	取組場所 	【取組の様子】 ・
取組内容に関連する実施の現状と課題	令和２年に陸揚げ、出荷の効率化と、衛生管理の強化などを図って完成した衛生管理型漁港施設において、取り扱う商品の更なるブランド化や付加価値向上を目指して、新たに作成した衛生管理マニュアルを運用している。		
取組による効果（数値目標）	・漁港の衛生管理基準の「レベル３」達成 ・年１回の衛生管理研修会及び現地指導の実施		
（2）取組内容・実施体制（Do）			
取組内容、方法、手順、実施体制	・衛生管理マニュアルの成案 →厚岸地区衛生品質管理対策部会で協議したマニュアル（案）を １ 年間運用し、令和７年２月の同部会での意見交換を経て完成版となった。 ・市場の現地調査、指導 →市場のセリ時の衛生管理体制などを確認し、衛生品質管理対策部会の際に改善点などを共有している。 ・衛生管理研修会の開催 →令和８年３月に開催し厚岸市場の課題と対策や他産地市場の衛生品質管理対策事例について紹介した。水産加工業者・漁協職員などの市場関係者が参加。		
（3）効果項目に対する評価（Check）			
数値目標の達成度評価	・衛生管理型施設での着帽や、管理エリア内での禁煙の徹底を図ることができた。 ・衛生管理研修会及び現地指導について実施することができた。		
反省点	・マニュアルに合わせた衛生管理体制のチェックシートの導入ができなかった。 ・セリの際の水産物を乗せるパレットへの乗り降りの禁止を徹底できなかった。		
（4）取組の改善措置（Action）			
取組内容の改善点	・チェックシートの作成し、点検を実施する。 ・パレットへの乗り降り禁止を徹底する。		
取組の実施に必要なもの	・衛生管理体制チャックシートによる点検の実施。 ・市場関係者への衛生管理基準の周知と遵守の徹底。		

地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み（厚岸地域）

●厚岸産水産物の販売強化（継続事業）

（1）地域マリンビジョンにおける取組内容（Plan）

地域MVにおける取組の位置付け	**【地域の将来像】** 交流人口の増加に向けた取組の推進 **【主な取組】** 厚岸産水産物の販売・ＰＲの推進 他事業との連携
取組内容に関連する実施の現状と課題	・町内の飲食店や宿泊施設が少なく、地域滞在型よりも町外からのお取り寄せや通過型観光の消費が多い。 ・漁協の旧加工場では高度な衛生管理の維持や生産能力の向上が難しいことから、新工場の稼働を予定している。 ・アサリ堀り体験事業の実施
取組による効果（数値目標）	直売店のふるさと納税返礼品取扱額の１０％増加

取組場所

（2）取組内容・実施体制（Do）

取組内容、方法、手順、実施体制	・漁協直売店では、継続的なネット販売やＳＮＳ（Facebook、Instagram）を利用したイベントや売り出し広告を発信し、ＳＮＳフォローによるプレゼント抽選企画など、新規顧客獲得に努めた。 ・釧路管内市町村が連携する同地域づくり広域プロジェクトにおいて、道内を走る観光列車乗客への、パンフレットや厚岸特産の水産加工品を配付するなどのプロモーション。 ・ふるさと納税ポータルサイトでのＰＲ。 ・ふるさと納税のイベント参加によるＰＲ。 ・アサリ堀り体験事業の実施。 ・漁協新工場建設に係る利子補給制度の拡充。

（3）効果項目に対する評価（Check）

数値目標の達成度評価	・直売店の返礼品取扱額は令和６年の約４億３千万円に対し、７年は３億２千万円と減少したものの、ＳＮＳフォロワーの増加やアサリ堀り体験事業の参加者数の維持など、間接的な目標達成への成果が得られた。
反省点	・ブランド化や新たな返礼品開発といった数値の直接増加につながる取組ができなかったものの、既存の厚岸ブランドを継続的にＰＲすることができた。 ・アサリ掘り体験事業は町内外から３，０００人を超える参加者が集まり、交流人口の増加に寄与した。

（4）取組の改善措置（Action）

取組内容の改善点	・水産物の新たなブランド化や新たな返礼品の開発。 ・ふるさと納税ポータルサイトのＰＲの更なる強化。 ・イベント時におけるふるさと納税ＰＲの強化。 ・アサリ堀り体験では参加者が極端に増加すると資源の枯渇を招くことから、持続可能な実施に向けた資源管理が必要。
取組の実施に必要なもの	・各団体との連携強化。 ・継続的な資源調査及び資源管理。 ・交流人口の更なる獲得に向けた新たな体験漁業等の検討

関連資料

【取組の様子】